

統一テーマ

たから

「地域の財と未来づくり」

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

第32回 自治体学会 青森大会



2018. 8/24 (金) ~ 8/25 (土)

大会参加

情報交換会



宿泊

エクスカーション

等のご案内

24日(金)

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

会場 リンクモア平安閣市民ホール
(青森市柳川1-2-14)

主催 第34回全国自治体政策研究交流会議
青森大会実行委員会
(青森県、青森市、青森県市長会、青森県町村会)

25日(土)

第32回 自治体学会 青森大会

会場 リンクモア平安閣市民ホール
(青森市柳川1-2-14)

ねぶたの家 ワ・ラッセ
(青森市安方1-1-1)

主催 自治体学会

地域^{たから}の財と未来づくり

第 34 回全国自治体政策研究交流会議青森大会

》ごあいさつ

第 34 回全国自治体政策研究交流会議青森大会の開催に当たり、全国各地からのご来県を心より歓迎申し上げます。

青森県は全国有数の農業産出額を誇りますが、これは、世界自然遺産「白神山地」や八甲田連峰などの自然の恵みによるものであるとともに、広い県土の各地に存在する農山漁村集落により支えられています。地域の営みが人と文化を育む「ゆりかご」の役割を果たしながら、時代を超えて受け継がれ、新たな担い手を生み、世界に誇る火祭り「青森ねぶた祭り」などの豊かな文化を継承してきました。

世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の中心的存在である「三内丸山遺跡」では、未来を先取りするかのような持続可能な共生社会が長きにわたり形成されていました。この時代の集落の営みが現代に脈々と息づいているかのようです。

また、三方を海で囲まれた青森県は、古くから人やものが行き交う拠点でありました。「三内丸山遺跡」の出土品から、すでに縄文時代に他地域との広域的な交流・交易が行われていたことがうかがえます。近年では、北海道新幹線の開業や大型クルーズ客船の寄港増加、新たな国際定期便の就航など、国内のみならずグローバルな陸・海・空の交通の要衝として、ダイナミックな発展を遂げようとしています。

こうした交流のまち・青森にて、「地域の財(たから)と未来づくり」をテーマに政策研究の交流が行われることは、誠に意義深く、実り多き大会となりますことを期待しています。いにしへの時代に思いをはせながら未来の地域づくりの議論を深め、あわせてこの機会に、歴史や文化、自然や食といった青森の財(たから)をご堪能いただければ幸いです。

第 34 回全国自治体政策研究交流会議青森大会

実行委員会委員長 田中 良斉(青森県総務部長)

第 32 回自治体学会青森大会

》ごあいさつ

第 32 回自治体学会の大会開催にあたり、自治体職員の自己研鑽の重要性を深く認識され、本大会をお引き受けくださり、大会運営に全面的な協力を頂いた青森県及び青森市の皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

とりわけ三村申吾青森県知事におかれましては、青森県下の市町村の皆さんに幅広くお声がけいただき、多くの自治体職員の方々の参加を得て、自治体学会の大会を開催することができることを深く感謝申し上げます。また、小野寺晃彦青森市長には、自治体職員の研修の意義を的確に認めてくださり、大会の開催に全面的な協力を得ることができました。

青森をはじめとする北東北から北海道にかけては、1 万年というまれにみる長期にわたり、安定した縄文の集落が形成された他に類のない地域として、世界に誇ることのできる個性を有しています。稲作を中心とする農耕文化が日本に到達する以前に、多様な生態系を維持しつつ、長期にわたり豊かな文化圏を維持してきたことは、この地域がいかに豊饒な自然に恵まれていたかを示しています。また、それらの考古学遺跡が広い範囲で保存され、縄文の文化の豊かさを今日に伝えていることは、後世の人々がこうした環境に継続して敬意を払ってきた証しでもあります。

青森の地は、その意味でも、サステイナブルな社会の今後のあり方を議論する恰好な場であると言えます。この地に、高い志を持った各地の自治体職員が集い、さらには地方議会の議員や地方自治に思いを致す研究者やジャーナリストなど、自治体のさらなる可能性を信じる自治体学会のメンバーが集い、今後のサステイナブルな地方自治のあり方を議論する場が持てるということは、このうえない喜びです。

ここ青森の地で、地方自治のさらなる可能性を信じる多くの有志がネットワークの絆を深め、明日の元氣を得ることができることを確信し、ごあいさつとさせていただきます。

自治体学会理事長 西村 幸夫(神戸芸術工科大学教授)

《 開催概要 》

■ 第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月24日(金)	11:30 受付開始 12:55 青森県PRタイム 13:00 開会/あいさつ 13:10 基調講演 「人は財(たから)～あおもりを愛する人づくり～」 三村 申吾 青森県知事 14:10 青森市PRタイム 14:20 (休憩) 14:35 パネルディスカッション 「人口減少時代における地域の明日を考える ～地域力・地域資源を活かすしごと創りへの挑戦～」 ■コーディネーター 西村 幸夫 自治体学会理事長、神戸芸術工科大学教授 ■パネリスト(五十音順) 内海 弘次 (株)内海青果 代表取締役 大崎 陽一 あおもり地域ビジネス交流センター プランナー 小野寺 晃彦 青森市長 木村 尚子 mizuuro(株) 代表取締役 16:25 自治体学会あいさつ 16:30 次期開催地あいさつ 16:35 閉会/あいさつ	リンクモア平安閣市民ホール 青森市柳川1-2-14 (017-722-3770)	参加費 2,000円 ※青森県内在勤・ 在住者は無料
	17:30 情報交換会 ～19:30	青森国際ホテル 青森市新町1-6-18 (017-722-4321)	参加費 5,000円

■ 第32回自治体学会青森大会

日程	内 容	会 場	備 考
8月25日(土)	9:00 自治体学会総会 9:30 受付開始 10:00 基調講演 ～11:30 「地域の価値を確認し、未来を展望する」 岡崎 昌之 法政大学名誉教授(元自治体学会代表運営委員) 11:40 自治体学会賞表彰式 12:10 (昼食・休憩) 13:00 研究発表セッション ～14:00 A 議会 B 医療・健康と情報 C 政策法務・高齢化社会 D まちづくり E 産業廃棄物・非営利組織 14:15 分科会 ① 自治体職員のネットワークのイカし方 ② 都市と農山漁村の共生 ③ 「シェアリング」エコノミーと自治体政策 ④ へき地医療の現状と課題 ～へき地における健康政策と保健所機能を中心として～ ⑤ だれもが「住民」として守られるために ～避難者・困窮者の現場から～ ⑥ (地元企画) "あるもの活かし"の地域経営とインバウンド観光 ⑦ (公募企画) 行政組織における"参謀機能" ～首長と職員のかけ橋とな って組織力を最大化～ 16:15 閉会	リンクモア平安閣市民ホール 青森市柳川1-2-14 (017-722-3770) ねぶたの家 ワ・ラッセ 青森市安方1-1-1 (017-752-1311)	参加費(資料代) 【会員】 3,000円 【非会員】 6,000円
	9:30～16:00 ポスターセッション	リンクモア平安閣市民ホール	

■ エクスカーション

日 程	内 容	参 加 費
8月25日(土) ～8月26日(日)	Aコース 浅虫温泉夜なべ談議と八甲田丸"マグ女セイカン博覧会"、三内丸山遺跡コース Bコース 弘前夜なべ談議と弘前城スマートグラスツアー体験、弘前街歩きコース Cコース 八戸夜なべ談議と館鼻岸壁朝市、市直営街なか賑わい創出施設コース	A 25,500円 B 24,800円 C 28,500円

第34回 全国自治体政策研究交流会議 青森大会

《 8月24日（金）》

■ 基調講演

講演者 三村 申吾 青森県知事

演 題 「人は財（たから）～あおもりを愛する人づくり～」

概 要 青森県は、豊かな自然環境の中で、自然のリズムやゆったりと流れる時間を大切にしながら、生きることの価値やすばらしさを実感して暮らすことができる社会、そして、自らの人生や新たな物事にチャレンジする意欲がわいてくる社会など、県民が安んじて生きられる、そして輝いて生きられるような社会の実現を目指してきました。

このような社会を実現していく上で、最も基本となるのは、人の財（たから）、すなわち「人財」であり、人財の育成こそがあらゆる分野の根幹をなす、未来の青森県づくりの基盤となるものであるとの考えから、様々な取組を進めてきました。

ふるさとを愛する気持ちを原動力として、ふるさとの元気をつくるために挑戦していく、チャレンジ精神あふれる人財の育成について、皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

〈 講演者プロフィール〉

三村 申吾（みむら しんご） 青森県知事



昭和 31 年青森県生まれ。東京大学文学部卒業。平成 4 年百石町長（1 期）。平成 12 年衆議院議員当選後は、衆議院総務常任委員、衆議院農林水産常任委員、衆議院懲罰常任委員、衆議院災害対策特別委員を歴任。平成 15 年に青森県知事当選。現在 4 期目。

■パネルディスカッション

演題 「人口減少時代における地域の明日を考える ～地域力・地域資源を活かすしごと創りへの挑戦～」

概要 人口減少・少子高齢化や経済のグローバル化など、我が国を取り巻く環境は著しく変化しており、地域がこうした時代を生き抜き、次代を担う人たちによりよい形で引き継いでいくためには、地域で暮らす人たちが、自分のまちのことを知り、まちの価値や課題を見つめ直した上で、地域づくりを進めていくことが求められています。

先人たちの努力によって培われてきた歴史・文化や自然など、強みとも言える貴重な地域資源を数多く有している青森においては、特に、地域力・地域資源を活かすしごと創りの取組に力を入れており、各分野で活躍するパネリストが、しごと創りに関するそれぞれの事例などを紹介しながら、地域の明日(地域の活性化)やまちづくりについて討論します。

コーディネーター

西村 幸夫 (にしむら ゆきお) 神戸芸術工科大学 教授

1952年福岡県福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、平成8年より東京大学大学院教授。平成30年4月から神戸芸術工科大学教授。専門は都市計画。工学博士。自治体学会理事長、日本イコモス国内委員会委員長。主な著書に『県都物語』(有斐閣)、『都市保全計画』(東大出版会)『環境保全と景観創造』(鹿島出版会)、主な編著書に『都市経営時代のアーバンデザイン』(学芸出版社)、『都市美』(同)など。「縄文遺跡郡世界遺産登録推進専門家委員会委員」を務めるなど、青森県との関わりも深い。



パネリスト (五十音順)

内海 弘次 (うつみ こうじ) 株式会社内海青果 代表取締役

1956年青森県青森市生まれ。平成18年に株式会社内海青果4代目代表取締役に就任。同社は青森市産の伝統野菜や西洋野菜を全国に本格流通させようという「あおもり魅力野菜プロジェクト」(通称「アオベジ」)に参画。その販売拠点となる直営店「ベジタブルショップ・ウツミ」を昨年7月にオープン。野菜を通して短命県返上に取り組んでいる。



大崎 陽一 (おおさき よういち) あおもり地域ビジネス交流センター プランナー

1981年愛媛県宇和島市生まれ。山梨学院大学卒。2011年にJBIA(日本ビジネス・インキュベーション協会)認定IM(インキュベーション・マネージャー)取得。6次産業化アドバイザー、21あおもり産業総合支援センターIM、あおもり地域ビジネス交流センターIMを歴任。150件以上の創業者、中小企業を支援。現在、あおもり地域ビジネス交流センターIM兼中小機構地域活性化支援チーフアドバイザーを務め、創業者、中小企業者の支援を精力的に行っている。



小野寺 晃彦 (おのでら あきひこ) 青森市長

1975年青森市生まれ。東京大学経済学部卒。平成28年11月、市長に就任。長く市政の課題であった第三セクターの青森駅前再開発ビル(株)を平成30年4月に特別清算。社会情勢の変化を踏まえ、これまでの一極型の「コンパクトシティ」から多極型の「コンパクト・プラス・ネットワーク」を掲げるまちづくりへ方向転換。平成29年5月、スタートアップ都市推進協議会に加盟するなど、「挑戦を誇る街」を掲げ、起業・創業支援に力を入れている。



木村 尚子 (きむら なおこ) mizuiro 株式会社 代表取締役

1979年青森県青森市生まれ。弘前市の専門学校にてデザインソフトを習得。青森県内の情報誌会社、デザインなどを経て平成24年に独立し、青森市にデザイン事務所「デザインワークスSTmind」を開設。野菜の粉末を原料にした、「おやさいクレヨン vegetabo」を発売。平成26年9月に法人化し、「mizuiro 株式会社」を設立。子ども目線の商品やサービスの提供に取り組んでいる。



大会統一テーマ

「地域の財^{たから}と未来づくり」

< 基調講演 「地域の価値を確認し、未来を展望する」 (10:00~11:30) >

講師 岡崎 昌之 法政大学名誉教授・元自治体学会代表運営委員

< 自治体学会賞表彰式 (11:40~12:10) >

(昼食・休憩)

< 研究発表セッション (13:00~14:00) >

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告や研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

下表の5テーマ、9人(組)の発表が行われます。

テーマ、発表者の詳細は、自治体学会ホームページをご覧ください。

セッションA	議会
セッションB	医療・健康と情報
セッションC	政策法務・高齢化社会
セッションD	まちづくり
セッションE	産業廃棄物・非営利組織

< 分科会 (14:15~16:15) >

分科会 1 自治体職員のネットワークのイカし方	
<p>現在、自治体職員が参加する「ネットワーク」は、たくさんある。また、自治体職員が中心となり、民間の人たちを巻き込みながら運営している「ネットワーク」も増えてきた。この中には、アカデミックで伝統あるネットワークのほか、「つながる」ことを目的とした“ゆるやかな”タイプのものなどもあり、運営スタイルは実に多様になってきている。そして、当然だが、タイプに応じて、活動する目的や取り扱うテーマなどは異なっている。しかし、面白いことに課題は共通している。それは、これらの活動で得たものを、自治体職員として、仕事や地域活動に、どう活かしていくべきか?ということだ。</p> <p>本分科会では、東北まちづくりオフサイトミーティング(以下「東北OM」)のメンバーを迎え、自治体学会と東北OMの活動を比較しながら、ネットワークが抱える共通課題「ネットワーク活動の活かし方」について、フロアとの対話を通して紐解いてみたいと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パネリスト 山崎 栄子(大野城市教育委員会教育指導室係長) 佐々木 絵理(弘前市相馬総合支所総務課主事) 岩間 望(宮城県石巻保健所主事) ●コメンテーター 後藤 好邦(山形市企画調整部企画調整課課長補佐(兼)交通企画係長) ●コーディネーター 佐藤 啓二(青森県おいらせ町商工観光課課長補佐)
分科会 2 都市と農山漁村の共生	
<p>都市にとっての農山漁村の意味、農山漁村にとっての都市の意味を、これからの自治体経営・国土構造・地方制度のあり方として考える。都市にとっての農山漁村は、都市に食糧・エネルギー・人間を供給する場というよりも、都市が忘れた「自然と折り合って暮らす豊かさ」「共同体の中で暮らす幸せ」という環境思想と生活文化を保存する場だろう。他方、農山漁村にとっての都市は、多様な個性をもった人間が集積して新しい時代の思想や文化を創造し続ける場であるはずだ。工業化・都市化が終わった今、都市中心に上からの統治を目指すのではなく、都市と農山漁村を「互いに互いを必要とする関係」とみて連帯する方向を、青森・秋田で地域おこし協力隊を経験した若い世代の報告を聞いて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パネリスト 大森 彌(東京大学名誉教授、自治体学会顧問) 宮口 侗迪(早稲田大学名誉教授、 総務省過疎問題懇談会座長) 園山 和徳(一般社団法人くるくる佐井村代表理事、 元・青森県佐井村地域おこし協力隊) 水原 聡一郎(元・秋田県小阿仁村地域おこし協力隊) ●コーディネーター 青山 彰久(読売新聞東京本社編集委員)

分科会 3 「シェアリング」エコノミーと自治体政策

海外では2000年頃からシェアリングサービスが始まり、Airbnb（民泊仲介サービス）やUber（ライドシェア）といったシェアリングサービスを行う企業が活動を行っており、日本でも2010年頃から「シェアリング」を活用したサービスが増えてきました。そうした中、シェアリングサービスを地方創生に生かそうとする自治体の取り組みも始まっています。

この分科会では、現在、実際に取り組みを行っている自治体の職員、NPOの方々から実際の取り組み状況を紹介していただき、取り組みを行う中で、①どのような効果が表れ、②どのような課題が生じているのか、③今後の展望等について議論していただきます。今後より多くの自治体が政策としてシェアリングサービスを活用し、地方創生に繋げていくことを目的としています。

- パネリスト
石上 涼子（多久市商工観光課商工観光係長）
柿崎 弘樹（湯沢市協働事業推進課魅力創造班主査）
齋藤 丈夫（やまがた福祉移動サービスネットワーク代表）
- コーディネーター
岡田 英幸（愛知県振興部情報企画課主幹）

分科会 4 へき地医療の現状と課題～へき地における健康政策と保健所機能を中心として～

都道府県及び市町村では、へき地医療対策として、①医療従事者の確保及び資質向上を始めとする医療資源の充実、②ドクターヘリの導入やICTの活用といった医療資源の有効活用に取り組んでいるが、今後、医療資源の充実はより困難になり、有効活用にも限度がある。そのため、できるかぎり、人々が健康的な生活を過ごし、医療を必要としないような健康政策を実施していく必要がある。

市町村では、健康診断の受診勧奨や保健指導を実施しているが、保健所との連携が課題であるとの指摘もなされている。保健所は、医師、看護師などの専門職種によって構成され、市町村とともに効果的な健康政策を実施していく役割を担っており、へき地医療対策に多大な役割を發揮できるものと思量される。本分科会では、へき地医療の現状と課題を、健康政策のあり方と保健所の果たすべき役割という視点から検討してみたい。

- パネリスト
鳥谷部 牧子（青森県むつ保健所健康増進課長）
飯田 貴子（青森県野辺地町健康づくり課長）
石井 敦子（和歌山県立医科大学保健看護学部講師）
- コーディネーター
古城 隆雄（東海大学健康学部健康マネジメント学科准教授）

分科会 5 だれもが「住民」として守られるために～避難者・困窮者の現場から～

その地域に存在しながら「住民」としての権利義務を適正に享受できない人がいる。例えば福島原発事故により元の自治体に住民票を置いたまま避難先で生活している人。例えば居所を持たない路上生活者。DVから逃れてきて住民票を動かせない人。本来もっとも守られるべき弱者・少数者が、住民登録制度（住民基本台帳）から漏れることを理由に、人並みの権利義務を行使できないのは、「住民の実態」と「住民という既存の概念で作られた現行制度」にずれが生じているからではないかという仮説のもとに、政策法務の視点をまじえて議論していく。

地域に間違いなく存在しているその人を守るために、少数者であるからこそ丁寧に耳を傾け、正しく実情を認識し、現行制度の問題点や、現行制度の中でも私たちに出来ることは何か考える。

- パネリスト
渡部 朋宏（福島県会津美里町総務課総務係長）
池下 英理子（多賀城市自立相談支援窓口主任相談員）
津軽石 昭彦（関東学院大学法学部教授）
- コーディネーター
矢野 奨（河北新報社盛岡総局長兼論説委員）

分科会 6 (地元企画) “あるもの活かし”の地域経営とインバウンド観光

国内外からの交流人口の拡大や旅行消費によって地域の活力を維持し、地域社会を発展させる鍵として、「観光」「地域経営」「地域イノベーション」に注目が集まっている。特に、2012年には1,000万人に満たなかったインバウンド観光客は近年急増してきており、昨年は過去最大の2,869万人となった。青森県における外国人延べ宿泊者数は2012年から昨年にかけて6倍以上になるなど、インバウンド観光振興に成功している。インバウンド需要が高まる中、どのように地域ブランドを形成して地域資源に活かし、コミュニティ形成を図っていく必要があるのか。地域経済にお金がまわり、付加価値の高い地域ビジネスを展開していくためには、何がポイントとなるのか。青森県における産官学連携＝協働による「あるもの活かし」の視点を踏まえつつ、「地域経営」及び「地域イノベーション」に向けたインバウンド観光の具体的な取組を検討する。

- パネリスト
蝦名 正晴（八甲田ロープウェイ株式会社社長）
盛 健一（青森スノーランド活性化協議会事務局長）
西谷 雷佐（たびすけ合同会社西谷代表）
清野 浩輝（青森県観光国際戦略局誘客交流課主幹）
- コーディネーター
遠藤 哲哉（青森公立大学・大学院教授）

分科会 7 (公募企画) 行政組織における“参謀機能”～首長と職員のかげ橋となって組織力を最大化～

地方創生の戦略実現には、地域の財とつながることが大事だが、行政組織内の首長と行政職員との間には、果たす責任と仕事観、組織観、人生観に違いがある。さらに、マニフェストを掲げ、スピードと成果を求める首長と、定数削減され、限られた予算の中で、複雑化する地域の課題と、多様化する民力の活用や協働、高度なリスク管理に向き合う職員との間のギャップは大きくなっている。

“参謀機能”とは、首長のリーダーシップのもと、トップダウンとボトムアップをうまく連動していくマネジメントである。自治体改善マネジメント研究会ではマネジメントプロセスの着眼点を明確にした「行政参謀ステップアップシート」を開発した。本分科会では、これをもとにパネラーから各着眼点における実践経験を紹介し、“参謀機能”の意義と向上策を探ってきたい。

- パネリスト
中川 照文（尼崎市企画財政局政策部長）
本田 一泰（文化庁地域文化創生本部事務局上席調査役）
浦本 佳行（京都府精華町総務部次長）
- コーディネーター
金谷 一郎（大阪経済法科大学21世紀社会総合研究センター客員教授）

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

自治体学会事務局からのお知らせ

◆自治体学会（8月25日（土））の参加者受付について

- ・受付場所：リンクモア平安閣市民ホール（青森市民ホール）1階ロビー
- ・受付時間：9時30分から受付を開始します。
午後から参加される場合でも、必ず、受付を済ませてください。

◆自治体学会総会について

- ・自治体学会の総会は午前9時00分から9時45分までの予定で、リンクモア平安閣市民ホール2階のホールで行います。
- ・総会に出席される学会員の方は、午前9時までに直接会場にお越しください。
- ・総会終了後、基調講演開始前あるいは休憩時間等に適宜参加者受付を済ませてください。

◆基調講演・研究発表セッション・分科会等会場について

- ・リンクモア平安閣市民ホールが会場です。分科会（午後）の一部はねぶたの家ワ・ラッセで開催します。会場の一覧表を当日受付で配布いたします。（二つの会場は約400メートル離れており、徒歩で約5分。）

◆昼食会場について

- ・リンクモア平安閣市民ホール周辺に飲食店はありますが、昼の時間帯は混雑が予想されますので、昼食を持参するか、弁当の予約をお勧めします。
- ・昼食をおとりいただける場所は、当日配布する会場図をご覧ください。

第34回全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会 大会参加・宿泊・情報交換会等お申込みのご案内

この度、「第34回全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会」が青森市で開催されます事を心よりお慶び申し上げます。

今大会の参加申込み受付業務については、(株)近畿日本ツーリスト東北青森支店が担当させていただきます事になりました。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

青森大会に関するお申込み・お支払等についての詳細を以下の通りご案内させていただきます。

(株)近畿日本ツーリスト東北青森支店

1. お申込み方法（大会参加・宿泊・情報交換会・エクスカージョン）

- (1) 別紙の大会申込書に必要事項をご記入の上、各施設又は所属先毎に参加者を取りまとめ、(株)近畿日本ツーリスト東北 青森支店あてに FAX、又はEメール、又は郵送にてお申込み下さい。

お申込み受付後、7日間以内に受領確認書を FAX、又はEメールにて送付いたします。

※受領確認書が10日以上たっても届かない場合は、お申込み先へお問合せ下さい。

※Eメールでのお申込みの場合は、個人情報保護の為パスワードによる保護をお願い致します。なお、パスワードは別メールにてお知らせ下さい。

※電話による申込み・変更・取消等はトラブルの原因となりますのでご遠慮願います。

※お申込書の控えとして必ずコピーを保管願います。

- (2) お申込み締切日 平成30年7月23日（月）

- (3) お申込み・お問合せ先（P12にも記載しております）

(株)近畿日本ツーリスト東北 青森支店

〒030-0801 青森県青森市新町1-1-14-3F（損保ジャパン日本興亜青森ビル）

TEL 017-722-5500 FAX 017-773-5165

Eメール aomori@or.knt-th.co.jp

「第34回全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会デスク」

担当：加藤・藤田 〈営業時間 月～金 9:30～17:30（土日祝祭日休み）〉

2. 大会スケジュール <8月24日（金）～8月25日（土）>

8月24日（金）

■13:00～16:35

第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会

リンクモア平安閣市民ホール	大会参加費	県内参加者	無	料
		県外参加者	2,000円	

■17:30～19:30

情報交換会（定員200名）

青森国際ホテル	参加費	5,000円
---------	-----	--------

8月25日（土）

■10:00～16:15

第32回自治体学会青森大会

リンクモア平安閣市民ホール	大会参加費（資料代）	会員	3,000円
及びねぶたの家ワ・ラッセ		非会員	6,000円

※8月25日（土）～8月26日（日）実施のエクスカージョンの詳細は次ページに掲載しております。

3. エクスカーションのご案内 <8/25(土)~8/26(日)> (募集型企画旅行)

参加者同士の親睦を深め、又、青森での滞在をより有意義にお過ごしいただく為、エクスカーション(1泊旅行)をご用意いたしました。

別紙大会申込書のエクスカーション希望欄にご記入の上、前頁同様 FAX、又はEメール、又は郵送にて(株)近畿日本ツーリスト東北青森支店へお申込み下さい。

■ Aコース

浅虫温泉夜なべ談議と八甲田丸“マグ女セイカン博覧会”、
三内丸山遺跡コース

■ Bコース

弘前夜なべ談議と弘前城スマートグラスツアー体験、弘前街歩きコース

■ Cコース

八戸夜なべ談議と館鼻岸壁朝市、市直営街なか賑わい創出施設コース

※各コース最少催行人員に満たない場合は、催行中止となります。催行可否は 7月23日(月)の締切日で判断させて頂き、中止の場合、8月3日(金)までにご連絡いたします。

※受付はお申し込み順とさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

※各コースとも、一部徒歩の行程がございます。歩きやすい服装、靴でご参加下さい。

※悪天候や交通事情で、行程の一部を急遽変更する場合がございます。予めご承知おき願います。

※お部屋は、他のお客様と相部屋になる場合がございます。予めご承知おき願います。

(Aコースは和室4~5名一室基準、Bコースは洋室1~2名基準、Cコースは洋室1~2名基準となります。Aコースの一人部屋設定はなし、B・Cコースの1、2名利用料金は同額です。)

■ Aコース「浅虫温泉夜なべ談議と八甲田丸“マグ女セイカン博覧会”、三内丸山遺跡コース」(1泊2日)

◎ご旅行代金 25,500円 ◎最少催行人員20名 ◎募集人員25名

旅費に含まれるもの:宿泊代(夕・朝食付)、貸切バス代(バスガイド付)・昼食代(1回)・入場料・有料道路駐車代
※添乗員なし(本ツアーでは、エクスカーションサポート学会員と一緒にコースをご案内いたします。)

日時	行程	食事
8/25 (土)	青森市内====浅虫温泉(泊) 17:00 17:30頃 ※夜はホテル内にて、津軽海峡マグロ女子会・青森側とりまとめ役、島康子さんとの夜なべ談議 「辰巳館・本館」(和室4~5名一室基準)	夕
8/26 (日)	ホテル====マグ女のセイカン博覧会プログラム「八甲田丸わくわくツアー」==== 9:00 9:30 11:00 ====昼食(のっけ井)====三内丸山遺跡====新青森駅====青森駅 着 11:20 12:10 12:30 13:50 14:10 14:30頃 ※三八五観光タクシーバス利用	朝 昼 ×

●ツアーの見どころ!

【マグ女・島康子さんと夜なべ談議】

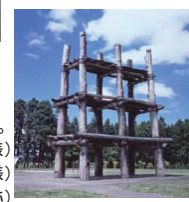
青森と北海道南部、海をつないだまちづくりに挑戦しているのが「津軽海峡マグロ女子会」、通称マグ女。その青森側とりまとめ役のカラ元気女と、温泉浴衣で語りましょう。

【八甲田丸わくわくツアー】

青函トンネル開通に伴い、青函連絡船「八甲田丸」が廃止されて今年でちょうど30年を迎えます。乗組員の一人であった当時の機関長が、制服姿で船内をご案内。一般公開していないエリアを中心に、臨場感たっぷりの解説をしてくれます。9月15日スタートの「マグ女のセイカン博覧会」から、特別に先行開催。

【のっけ井、三内丸山遺跡】

いまや青森市の名物となった「のっけ井」、そして、世界文化遺産登録を目指す縄文遺跡群の象徴的存在「三内丸山遺跡」と、鉄板コースも準備!



マグ女・島康子さん／
八甲田丸／三内丸山遺跡
※写真はすべてイメージです。
(左写真提供:島康子様)
(右上写真提供:高木まゆみ様)
(右下写真提供:三内丸山遺跡)

■Bコース「弘前夜なべ談議と弘前城スマートグラスツアー体験、弘前街歩きコース」(1泊2日)

◎ご旅行代金 24,800円 ◎最少催行人員20名 ◎募集人員25名

旅費に含まれるもの: 宿泊代(朝食付)、昼食・夕食各1回、貸切バス代(バスガイド付)・入場料・有料道路駐車代
※添乗員なし(本ツアーでは、エクスカッションサポート学会員と一緒にコースをご案内いたします。)

日時	行程	食事
8/25 (土)	青森市内＝弘前市内(泊) ※夜は弘前路地裏探偵団とゆく街歩きツアー 17:00 18:00頃 ～「弘前市内夕暮れ路地裏散歩」と 弘前路地裏探偵団・団長、鹿田智嵩さんとの夜なべ談議～ 【プラン】 18:00 ホテルチェックイン後バスで、土手町(まちなか情報センター)へ移動 18:30 街歩きツアー「弘前市内夕暮れ路地裏散歩」 19:45 津軽弘前屋台村「かだれ横丁」ホールで夕食&夜なべ談議(懇親会) 22:00 二次会(自由参加) 早押しクイズ大会(鍛冶町・エンタメ酒場十八番) 24:00 おひらき～自由解散 「ホテルルートイン弘前駅前」泊 洋室1～2名基準	夕
8/26 (日)	ホテル＝弘前城スマートグラスツアー体験＝嶽きみショッピング＝ 8:45頃 9:00 10:30 11:00 11:30 ＝弘前りんご公園・シードル工場見学(昼食)＝新青森駅＝青森駅 着 11:45 13:00 14:00 14:20頃 ※三八五観光タクシーバス利用	朝 昼 ×

●ツアーの見どころ!

弘前の路地裏、ガイドブックに載っていない名店、街角の裏話を
迷探偵たちが楽しく紹介。

その後、夜なべ談議で盛り上がりましょう! DEEPな話がきくと聞けますよ。

翌日は、最新のデジタル技術「スマートグラス」を装着し、弘前城を見学。

弘前城の歴史はもちろんのこと、2015年に話題となった弘前城天守曳屋工事の
動画などを音声ガイド付きで視聴しながらの城郭歩きツアーをお楽しみ下さい。

その後、岩木山麓の嶽地区で栽培・収穫された人気のとうもろこし「嶽きみ」や、
シードル工房 kimoriを見学。試飲もぜひどうぞ!



鹿田智嵩 氏 /
弘前夕暮れ路地裏散歩 /
スマートグラスツアー

※写真はすべてイメージです。
(写真提供: 弘前観光コンベンション協会 様)

■Cコース「八戸夜なべ談議と館鼻岸壁朝市、市直営街なか賑わい創出施設コース」(1泊2日)

◎ご旅行代金 28,500円 ◎最少催行人員15名 ◎募集人員20名

旅費に含まれるもの: 宿泊代(素泊まり)、夕食1回・貸切バス代(バスガイド付)・入場料・有料道路駐車代
※添乗員なし(本ツアーでは、エクスカッションサポート学会員と一緒にコースをご案内いたします。)

日時	行程	食事
8/25 (土)	青森市内(みちの道)＝八戸市内(泊) ※夜は八戸中心街の横丁散策・探検と、 17:00 19:00頃 八戸せんべい汁研究所®・所長、木村聡さんとの夜なべ談議 「ホテルイルヴィアーレ八戸」「ダイワロイネット八戸」「八戸ワシントンホテル」泊 洋室1～2名基準	夕
8/26 (日)	ホテル＝館鼻岸壁朝市(各自朝食)＝八戸(八戸ホールミュージアム「はっち」、まちなか広場 6:45 7:00 8:45 9:00 ※ガイドの案内で散策 「マチニワ」,「八戸ブックセンター」＝八食センター(お買物)＝八戸駅＝三沢空港 着 10:45 11:00 12:00 12:20 13:15頃 ※各自昼食 ※三八五観光タクシーバス利用	×

●ツアーの見どころ!

【八戸せんべい汁研究所®・所長 木村聡 氏】

地元の「食」や「日常」を資源として地域活性化に取り組む。「B-1グランプリ」の発案者でもある。

本業は八戸観光コンベンション協会の観光コーディネーターで、DMOの設立も担当。

【八戸の「横丁」と「朝市」】

八戸の観光資源として、今や祭りや自然を超えるほどに。

街中にある8つの横丁は、連日旅行者や市民で賑わい、海に近い複数の朝市も大人気。

今回は、夜なべ談議前後に横丁を散策・体験し、翌朝は「日本最大級」の「館鼻岸壁朝市」
を体験。

【八戸市直営の街なか3施設】

中心市街地の再生・活性化を目的に市が整備・運営して、

街なかの賑わい創出に貢献している3施設を、ガイドの案内で視察。

<①街なかの賑わい拠点「はっち」、②市直営の書店「八戸ブックセンター」、

③街なかの庭でイベント拠点となる「マチニワ」>



木村聡 氏 / 八戸みろく横丁 / 館鼻岸壁朝市

※写真はすべてイメージです。

(写真提供: 木村聡 様)

4. ご宿泊のご案内（募集型企画旅行）

- 今回、ご宿泊につきましては、(株)近畿日本ツーリスト東北 青森支店にて取りまとめております。
 - ・宿泊設定日：平成30年8月23日（木）・8月24日（金）・8月25日（土）
 - ・下記記載の宿泊料金は、お一人様1泊あたり・朝食付・税サービス料込・企画料込の料金です。
 - ・原則として先着順に受付致します。なお、満室などでご希望に添えない場合は、他のホテルへご案内させていただく場合もございます。（添乗員同行なし／最少催行人員1名様）

■お申込み方法

- 下記の一覧表よりご希望の宿泊施設をご選択下さい。
- 別紙の大会申込書のホテル希望欄に第1希望～第3希望までご記入下さい。また、禁煙希望の方は希望欄に○をご記入願います。また、大会弁当希望者は申込欄に○をご記入下さい。
- 大会申込書を(株)近畿日本ツーリスト東北青森支店へFAX、又はEメール、又は郵送にてご送付下さい。

申込番号	施設名	宿泊代金		所在地	アクセス	駐車場
		部屋タイプ	1泊あたり 料金（税込）		JR青森駅から	
①	ハイパーホテルズパサージュ	シングル	※朝食付 ¥8,000	青森市新町1-8-6 TEL：017-721-5656	徒歩5分	あり
②	ホテルパサージュⅡ	シングル	※朝食なし素泊り ¥6,500	青森市新町1-8-2 TEL：017-752-6670	徒歩4分	なし
③	ホテルアベスト青森	シングル	※朝食付 ¥7,000	青森市新町1-11-22 TEL：017-723-2001	徒歩5分	あり
④	ホテルルートイン青森駅前	シングル	※朝食付 ¥8,500	青森市新町1-1-24 TEL：017-731-3611	徒歩1分	あり
⑤	ホテルサンルート青森	シングル	※朝食付 ¥10,500	青森市新町1-9-8 TEL：017-775-2321	徒歩4分	あり

※駐車場の料金等詳細につきましては、お客様ご自身にて各ホテルにお問合せください。

※②ホテルパサージュⅡは、朝食の提供ができないため、素泊まりとなります。予めご承知お願います。



※会場（「リンクモア平安閣 市民ホール」、「ねぶたの家フ・ラッセ」）及び会場周辺には有料駐車場がございますが、大会当日は混雑することが予想されますので、公共交通機関を利用してお越しください。

5. 大会弁当のご案内

大会弁当のご案内 (昼食弁当)	設定日時： 8/25（土）	内容： 幕の内弁当・お茶付	料金： 1,000円（税込）
--------------------	------------------	------------------	-------------------

6. 変更・取消料について

申込後の変更及び取消はFAX又はEメールにて、(株)近畿日本ツーリスト東北青森支店へご連絡下さい。
 なお、行き違いを防ぐため、電話でのお申し出は受付できませんので予めご了承ください。

交流会議・情報交換会の参加費・ 自治会学会参加費(資料代)	手配先との取り決めにより8月17日(金)以降の取消による返金はできません。		
大会弁当代	取消日 ご利用日の前日から起算 してさかのぼって	前々日～前日 17:00 まで	取消料 50%
		前日 17:00 以降	100%
エクスカーション (1泊旅行)	取消日 ご利用日の前日から起算 してさかのぼって	20日前～8日前まで	取消料 20%
		7日前～2日前まで	30%
		出発前日	40%
		旅行当日の旅行開始前まで	50%
		旅行開始後又は無連絡不参加	100%
宿 泊	取消日 ご利用日の前日から起算 してさかのぼって	10日前～8日前まで	取消料 20%
		7日前～2日前まで	30%
		出発前日	40%
		宿泊当日の 12:00 まで	50%
		当日 12:00 以降又は無連絡不参加	100%

7. 今後の流れ・お問合せ先

- お申込み締切日 **7月23日(月) 必着**
- 予約確認書・各種参加券・ご請求書の発送 **8月上旬～中旬予定**
 ※送付書類の記載内容をご確認の上、請求書面記載の指定口座へ指定日までにお振込み下さい。
 (振込手数料は恐れ入りますが、お客様にてご負担いただきますようお願い申し上げます。)
- 大会当日 **予約確認書・各種参加券**をご持参下さい。

■旅行企画・実施／問合せ・お申込み先■

株式会社近畿日本ツーリスト東北 青森支店

「第34回全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会デスク」

観光庁長官登録旅行業第1925号 一般社団法人日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員

〒030-0801 青森市新町1-1-14 損保ジャパン日本興亜青森ビル3F

総合旅行業務取扱管理者 加藤 八峰

TEL:017-722-5500/FAX:017-773-5165

E-mail: aomori@or.knt-th.co.jp

担当: 加藤・藤田 営業時間: 平日 09:30~17:30 土・日・祝日休業

* 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので、ご確認ください。

(株)近畿日本ツーリスト東北公式サイト <http://www.knt-th.co.jp/>でも国内募集型企画旅行条件書をご確認いただけます。

* 旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う支店での取引の責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

■個人情報の取扱いについて

イ. 当社及び旅行をお申込みいただいた受託旅行者(以下「販売店」)は、旅行申込の際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送・宿泊機関等の手配の為に利用させていただくほか、当社の旅行契約上の責任、事故等の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内において当該機関等に提供いたします。また、旅行先でのお客様のお買物等の便宜の為、お客様のお名前及び搭乗される航空便等に係る個人情報を、電子的方法等で免税店等の事業者へ提供いたします。お申込みいただく際には、これらの個人情報の提供についてお客さまに同意いただくものとします。

ロ. 当社は、当社が保有する個人情報を商品開発や商品案内等販売促進活動、お客様へのご連絡や対応の為に、当社グループ企業及び販売店と共同利用させていただきます。当社グループ企業及び販売店が共同利用する個人情報は以下の通りです。

住所、氏名、電話番号、年齢、生年月日、性別、商品購入履歴、メールアドレス

ハ. 上記のほか、当社の個人情報の取り扱いに関する方針については、当社の店頭又はホームページでご確認下さい。

作成基準日:平成30年6月15日 承認番号#1595-18-060004

申込日 平成30年 月 日

第34次全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会 申込書

＜大会参加・宿泊・情報交換会等＞

受付番号

◆お申込締切日：平成30年7月23日(月) ◆送信先 FAX：017-773-5165 E-Mail：aomori@or.knt-th.co.jp

※この申込書は、大会ホームページにも掲載しています。

旅行手配のために必要な範囲内での宿泊機関・大会事務局等への個人データの提供について同意のうえ、以下のとおり申込みいたします。

都道府県名	所属団体・部署名
申込代表者名(フリガナ) ※連絡担当者	書類送付先住所(いづれかにチェック) <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅
〒	TEL
	FAX
	E-MAIL
連絡先	

参加者名簿への掲載	No.	都道府県名	所属団体・部署名	フリガナ氏名	8月24日(金)		8月25日(土)		宿泊日		ホテル希望			エクスカーション			弁当	備考	
					交流会議	参加費	参加費	自治体学会	午前	午後	23日	24日	25日	第1希望	第2希望	第3希望			第1希望
可		青森県	□□県○○部△△課	アオモリ 青森 太郎	2,000円	5,000円	16:15分	14:15分	○	○	○	4	1	3	A	C	B	○	
可	1			(会員番号) 12345															
可	2			(会員番号)															
可	3			(会員番号)															
可	4			(会員番号)															
可	5			(会員番号)															

※6名以上での申込みの場合は、お手数ですがコピーにて対応をお願いします。

※記載に際して不明点がございましたら、以下申込締切日(7月23日)東北青森支店へお問合せ下さい。

※大会参加費等のお支払いに関し、事務局の委任状をご用意ください。予めご告知をお願いします。

お支払方法	<input type="checkbox"/> 銀行振込	<input type="checkbox"/> クレジットカード
	・銀行振込をご希望のお客様は、予約確認書と請求書を8月上旬～中旬頃、ご送付予定です。	
通信欄	近畿日本ツーリスト	受付済
	記入欄	受付日

<p>個人情報の取扱いについて 当社は、本大会の開催に必要と認められる範囲内において、お申し込みの個人情報(氏名・住所・電話番号)を、本大会の運営に必要とする範囲内において、主催者の業務に提供いたします。また、本大会の運営に必要と認められる範囲内において、お申し込みの個人情報を、本大会の運営に必要とする範囲内において、主催者の業務に提供いたします。お申し込みの個人情報は、本大会の運営に必要とする範囲内において、主催者の業務に提供いたします。</p>	<p>■本大会に関するお問い合わせ先 「第34次全国自治体政策研究交流会議青森大会」 実行委員会事務局 (青森県総務部市町村課内) 〒030-8570 青森市長島1-1-1 TEL:017-734-9073 / FAX:017-734-8009</p>	<p>■参加申込み・宿泊等に関するお問い合わせ先 (株)近畿日本ツーリスト東北 青森支店 「第34次全国自治体政策研究交流会議青森大会デスク」 〒030-0801 青森市新町1-1-14-3F (担当:加藤・藤田) TEL:017-722-5500 / FAX:017-773-5165</p>
--	--	---

平成30年 月 日

(株)近畿日本ツーリスト東北 青森支店

「第34回全国自治体政策研究交流会議・第32回自治体学会 青森大会デスク」行

FAX : 017-773-5165

第34回全国自治体政策研究交流会議

・第32回自治体学会青森大会

【変更・取消依頼書】

(大会参加・宿泊・情報交換会等)

都道府県名		所属 団体名		フリガナ	
				申込代表者	
TEL			FAX		
※下記の通り依頼いたします。 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消 <input type="checkbox"/> その他 () ※いずれかにレ点					
参加者氏名		変更・取消内容			
		現在の手配	⇒	⇒	変更・取消希望
1					
2					
3					
4					
5					
通信欄：					

※この用紙は、各個人・団体様毎に、必要に応じコピーしてご利用ください。

※変更・取消はすべてFAX又はメールにて承ります。口頭のみによる両者の行き違いを防ぐため、お電話での変更・取消はお受けできません。予めご承知おき願います。

※FAX又はメールの到着が、受付デスクの営業時間外の場合、翌営業日扱いの受付とさせていただきます。

また、受付デスクへ無連絡で変更・取消された場合は一切ご返金できません。

※原則、変更・取消によるご精算は大会終了後となります。

(株)近畿日本ツーリスト	追加・取消・変更 上記の通り承りました。 / 担当 ㊟		
東北青森支店 記入欄	取消料	%にて	円となります。

「地域の財と未来づくり」 たから

三内丸山遺跡
(青森市)



弘前城
(弘前市)



館鼻岸壁朝市
(八戸市)



第34回全国自治体政策研究交流会議青森大会実行委員会事務局

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 青森県総務部市町村課 理財グループ内

TEL : 017-734-9073 FAX : 017-734-8009

HP : <https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/shichoson/jchitaigakkaiaomori.html>

自治体学会事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-1 KANDADA 3331 2階

TEL&FAX : 03-5577-3187

HP : <https://www.jigaku.org/>